

## ニュース・リリース

2009年1月23日

### アライアンス・バーンスタイン株式会社 野村証券向け「アライアンス・バーンスタイン・日本プレミア・バリュー株投信」を 新たに設定

【東京 - 2009年1月23日】 - アライアンス・バーンスタイン株式会社（所在地：東京都千代田区大手町、代表取締役社長：ティモシー・ファブリス・ライアン）はわが国のバリュー株（割安株）に投資する「アライアンス・バーンスタイン・日本プレミア・バリュー株投信」（追加型投信／国内／株式）（以下、『アライアンス・バーンスタイン・日本プレミア・バリュー株投信』）を野村証券専用ファンドとして新たに設定することを発表しました。

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・日本バリュー株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じてわが国の株式に分散投資を行い、バリュー株式運用を行うことにより長期的な信託財産の成長を目指します。

アライアンス・バーンスタイン株式会社の代表取締役社長のティモシー・ファブリス・ライアンは次のように述べています。「アライアンス・バーンスタインのバリュー株式運用部門は、1967年以来、一貫した投資哲学、ファンダメンタル分析と定量分析の観点を融合させた独自の運用プロセス、そして卓越したリサーチ能力で世界の投資家のニーズに応えてきました。この度、野村証券株式会社を通じ、当社がバリュー株運用を行う日本株ファンドを、日本の個人投資家の皆様にご購入いただけるようになることは大きな喜びです。新ファンドが投資家の皆様の長期投資の礎となり、将来にわたって資産形成の一助とあり続けるよう、今後も努めてまいります」。

#### 『アライアンス・バーンスタイン・日本プレミア・バリュー株投信』の特色

1. 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じてわが国の株式を実質的な主要投資対象とし、長期的な信託財産の成長を目標に運用を行います。
2. 本来の収益力と比べ、株価が過小評価された銘柄（＝割安株）をリサーチによって抽出することが可能であるという信念のもと、企業のファンダメンタル分析に基づく個別銘柄選択を付加価値の源泉としたボトムアップによるバリュー株式運用を行います。
3. ファンダメンタル分析と定量分析の二つの観点を融合させた個別銘柄選択を行います。
4. TOPIX（東証株価指数、配当込み）をベンチマークとします。

※市場動向や資金動向によっては運用の基本方針にしたがって運用できない場合があります。

\*\*\*\*\*

## アライアンス・バーンスタイン株式会社について

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、実質親会社で米国ニューヨークにおいてグローバルな資産運用業務を展開しているアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの日本拠点です。1986年の拠点開設以来、個人投資家や機関投資家向けに投資信託や年金運用などの投資サービスを提供しています。2008年9月30日時点の運用資産総額は約4兆1,652億円（海外顧客残高を含む）です。

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第303号

加入協会：社団法人投資信託協会／社団法人日本証券投資顧問業協会

## アライアンス・バーンスタイン\*について

アライアンス・バーンスタインは、世界各国において、機関投資家や個人投資家、個人富裕層に対して、高品質の研究と広い範囲にわたる資産運用サービスを提供する世界有数の資産運用会社です。運用プロフェッショナル500名以上（2008年9月30日現在）を擁し、様々な資産運用サービスを、子会社や合併事業を通じて世界20カ国以上の市場で提供しています。

2008年9月30日現在、アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの持分の約33.6%を保有しています。また、アクサ・フィナンシャル・インクが2008年9月30日現在でアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの約62.6%の持分を保有しており（間接的な保有分1.6%も含む。）、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとアライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーのゼネラル・パートナーシップ持分を含むとアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの持分の約63.0%を保有しています。アクサ・フィナンシャル・インクは、世界有数の金融サービス企業であるアクサのメンバーカンパニーです。

\*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

当資料は、プレスリリースとしてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客さまに帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託の取得のお申込みを行う場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）につきましては、販売会社にご請求ください。当ファンドの募集については、委託会社は、金融商品取引法（昭和23年法第25号）第5条の規定により有価証券届出書を平成21年1月22日に関東財務局長に提出しておりますが、その効力は生じておりません。

## お申込みメモ

### 信託期間

2019年2月27日まで（当初設定日2009年2月24日）  
なお、信託元本の額が30億円を下回った場合等には償還することがあります。

### 決算および分配

原則として、年2回の決算日（毎年2月27日および8月27日。当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。

### 取得のお申込み

当初申込期間（2009年2月9日から2009年2月23日）は2009年2月23日までに、継続申込期間（2009年2月24日以降）は取得申込受付日から起算して5営業日目までにお申込代金をお支払い下さい。

- お申込受付 毎営業日  
原則として午後3時（わが国の金融商品取引所の半休日は午前11時）までとします。
- お申込価額 当初申込期間：1口当たり1円／継続申込期間：取得申込受付日の基準価額
- お申込単位 一般コース：1万円以上1万円単位（当初元本1口＝1円）  
自動けいぞく投資コース：1万円以上1円単位

### ご換金について

換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からご換金代金をお支払いいたします。

- ご換金受付 毎営業日  
原則として午後3時（わが国の金融商品取引所の半休日は午前11時）までとします。  
※原則として1日1件5億円を超えるご換金は行えません。

### 課税関係

- ご換金価額 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額

原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額（個人の場合は譲渡益）に対して課税されます。

※詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただけます。なお、下記の費用には、その金額をあらかじめ表示することができないものが含まれているため、合計額を表示することができません。

### ご購入時

- お申込手数料 お申込価額とお申込口数を乗じて得た金額に、以下のお申込手数料率を乗じて得た額を、お申込時にご負担いただけます。手数料率は消費税および地方消費税に相当する率を含みます。

<お申込み口数>	<手数料率>
1億口未満	3.15%（税抜 3.00%）
1億口以上	1.575%（税抜 1.50%）

収益分配金を再投資する場合のお申込みは、無手数料となります。

### 保有期間中

- 信託報酬 純資産総額に対し、年1.40595%（税抜年 1.339%）を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じたかかります。
- その他の費用 組入金融商品等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、信託財産の監査にかかる費用等

（その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。）

### ご換金時

- 信託財産留保額 換金申込受付日の基準価額に0.4%の率を乗じて得た額とします。

※詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金について」をご覧ください。

## ファンドの主な関係法人

- 委託会社 アライアンス・バーンスタイン株式会社 [www.alliancebernstein.co.jp](http://www.alliancebernstein.co.jp)  
信託財産の運用指図、目論見書・運用報告書の作成等を行います。
- マザーファンドの投資顧問会社 アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド  
マザーファンドの信託財産の運用の一部の指図（除く国内剰余金の運用）を行います。
- 受託会社 野村信託銀行株式会社  
信託財産等の管理業務等を行います。

## リスクについて

### [基準価額の主な変動要因]

#### 株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

#### 流動性リスク

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があります。また、保有する金融商品等が期待された価格で処分できず、損失を被るリスクがあります。

#### 信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

※上記の他に「一部解約による当ファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク」、「他のベビーファンドの一部解約に伴う基準価額変動のリスク」、「インデックスの下落に伴うリスク」等があります。ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「リスクについて」をご覧ください。

### ご留意事項

当ファンドは預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認の上、投資の最終決定はご自身でご判断下さい。

- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に対する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。